

牛久：学校周辺に見る自然

第16号 ひたち野みずべ公園（ひたち野うしく小）

2019年6月2日発行

＜ 初夏のみずべ公園 ～⑦ハルジオンに来る虫たち ＞

5月9日ひたち野うしく小3年生と、16日1年生とのみずべ公園の生きもの観察、今回はハルジオンと、そこに来た虫たちの紹介です。



白から淡いピンクまであり、美しいハルジオンの花。北アメリカ原産で、もともとは観賞用にもちこまれたもの。

きれいですね。もともとは観賞用に持ちこまれ、その後野生化し、除草剤の効かないものが現れたこともあり全国にひろがったといわれています。この花には、チョウやハチなどいろいろな昆虫がやって来ます。そして、それらをねらって、クモがかくれていることもあります。



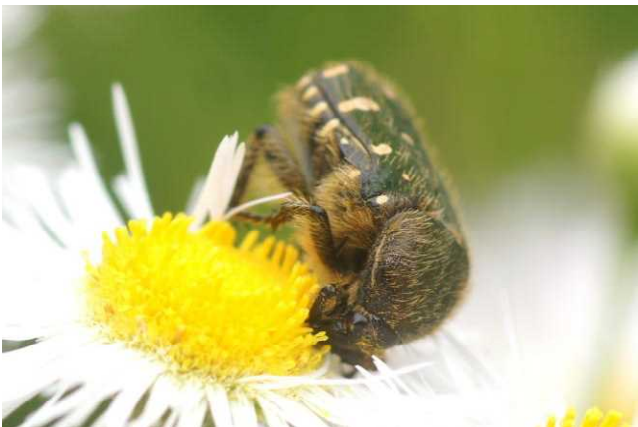
ハルジオンのみつを吸う、ベニシジミ（左）とキマダラハナバチ（右）。

この日、みつを吸いに来ていたのは、ベニシジミとモンキチョウ、それとキマダラハナバチなどのハチでした。



^{かふん}花粉をなめるツマグロキンバエ(左上)とナミハナアブ(右上)、ホソヒラタアブ(左下)、ミナミヒメヒラタアブ(右下)。

^{かふん}花粉をなめていたハエ・ハナアブのなかまは、^{ふくがん}複眼のもようがおもしろいツマグロキンバエ、^{おおがた}大型でミツバチとまちがえられるナミハナアブ、そしてホソヒラタアブとミナミヒメヒラタアブでした。



^{かふん}みつや花粉をなめるコアオハナムグリ。緑色のものから、茶色がかったもの、黒っぽいものまでいる。



おなじく^{かふん}花粉やみつをなめていた甲虫(こうちゅう)は、コアオハナムグリ。^{けぶか}毛深くて緑色のものが多く、茶色がかったものや黒っぽいものまでいますが、^{はね}羽のもようなどでこれと分かります。

小さなキリギリスのなかまがいることもあります。ヤブキリの^{ようちゅう}幼虫で、^{せいちゅう}成虫は他の^{こんちゅう}昆虫を食べますが、^{ようちゅう}幼虫は花や^は葉を食べます。【理科支援員：宮内】

ハルジオンの^{かふん}花粉を食べる、ヤブキリの^{ようちゅう}幼虫。